

ハーバードビジネススクールを越えろ！

iKODE × 山本雄士ゼミ

日時：2016年11月26日（土）

9:30 - 17:30 （17:45より懇親会）

場所：立命館いばらきフューチャープラザ
ラーニングスタジオ

講師：山本雄士（株式会社ミナケア代表取締役社長）

ハーバードビジネススクールで実際に行われているケーススタディーを通じて、医療業界の基本構造や経済の原理原則等を学び、新しい医療ビジネスを考えます。



主催：滋賀医科大学 iKODE

お問合せ：滋賀医科大学バイオメディカル・イノベーションセンター

email: ikode@belle.shiga-med.ac.jp TEL:077-548-2991

文部科学省EDGEプログラムの一環で実施しています。

山本雄士ゼミ

東京・日本橋を拠点に、2011年から計60回以上開講。ハーバードビジネススクールのケーススタディを通じ、病院経営・製薬・保険制度・組織マネジメントなどに対する「戦略」を議論します。参加者は、山本先生のファシリテーションと参加者同士のディスカッションとを通じて、ケースに対する理解を深め、現代日本に山積する、医療の課題を自らの言葉で語ることを目指します。

学生、社会人を問わず幅広い分野や世代の方が学び交流し合う場ともなっています。

< 予定しているケースの内容 >

(ケーススタディーは全て日本語で行います。)

Case_1: MedVal Ventures

内容: ハーバード・ビジネス・スクールの同級生4人はヘルスケア分野でビジネスをしようとチームを組んでビジネス・プランを練ります。「良いことをして成功をする」ことを最も大事な基準において、いくつものビジネス・プランの中から彼らが選んだのは、メディカル・ツーリズムでした。ディスカッションでは、インドの病院へのメディカル・ツーリズムを提供する彼らのビジネス・モデルを様々な観点から検討してきます。

Case_2: Eli Lilly and Company: Innovation in Diabetes center

内容: 糖尿病の治療に必要なインスリン。過去を振り返ってみると、はじめて糖尿病患者に投与されたのは、1922年のことでした。この際インスリンの大量生産に乗り出したのが、イーライ・リリー社で、以後リリー社はインスリンの生産で成長していきます。時代が進むに連れて、手軽に血糖を測れる携帯用血糖測定器や、手軽にインスリン注射をできるインスリンペンといったイノベティブな製品が開発されていく中で、リリー社が製薬業界で生き残っていくにはどうしたらいいのか。ディスカッションでは、リリー社の経営陣になったつもりでリリー社の今後の方針を議論します。

講師: 山本雄士

1974年札幌市生まれ。1999年東京大学医学部を卒業後、同付属病院、都立病院などで循環器内科、救急医療などに従事。2007年Harvard Business School修了。

現在、株式会社ミナケア代表取締役、ソニーコンピュータサイエンス研究所リサーチャーリサーチャーを兼任。2014年日本起業家賞受賞。厚生労働省保健医療2035推進参与に就任。

また教育活動として山本雄士ゼミを主宰。過去には、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター客員准教授、内閣官房医療イノベーション推進室 企画調査官などを歴任。ヘルスケア全体のシステムマネジメントを中心に、政策提言や講演活動を国内外で行う。また、教育活動として山本雄士ゼミを主宰している。日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医。

共著書に「僕らが元気で長く生きるのに本当はそんなにお金がかからない」(ディスカヴァートウエンティワン)、「病院経営のしくみ」(日本医療企画)、訳書に「医療戦略の本質」(マイケル・E・ポーターら、日経BP社)、「医療イノベーションの本質」(クレイトン・M・クリステンセンら、碩学舎)、「奇跡は起こせる」(ジョン・クラウリー著、宝島社)などがある。

< 会場 >

立命館いばらきフューチャープラザ 2階 ラーニングスタジオ
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

< 懇親会 >

時間: 17:45 - 19:45

場所: GARDEN TERRACE LION 立命館いばらきフューチャープラザ店

会費: 4,000円

< お申込み >

定員: 40名(定員を超えた場合は抽選)

締切り: 平成28年11月10日

氏名、所属、懇親会参加の可否を以下のメールアドレスへお送りください。

ikode@belle.shiga-med.ac.jp

(滋賀医科大学バイオメディカル・イノベーションセンター 祇園)

